

News Release

平成 22 年 2 月 19 日

北九州 PCB 廃棄物処理施設 1 期施設粗解体室内での洗浄液の漏洩について

平成 22 年 2 月 19 日午前 7 時 11 分頃、当社北九州 PCB 廃棄物処理施設第 1 期施設 1 階にあります粗解体室内の大型トランス洗浄ステーションで、PCB 油を抜油した後のトランスを自動循環洗浄中にテフロン製の洗浄用ホースから、洗浄液(PCB 濃度は現在測定中)が洗浄ステーションの下にあるセイフティネットのオイルパン(4,090 mm×3,190 mm)内に約 150 リットル漏洩しました。

直ちに循環洗浄を停止し、オイルパンに溜まった洗浄液を回収しました。

これによる PCB 等の施設外への漏洩や作業員への影響はありません。

なお、原因については現在調査中です。

(別添) 第 1 期施設(1 階)平面図及び漏洩した部分の写真

<連絡先>

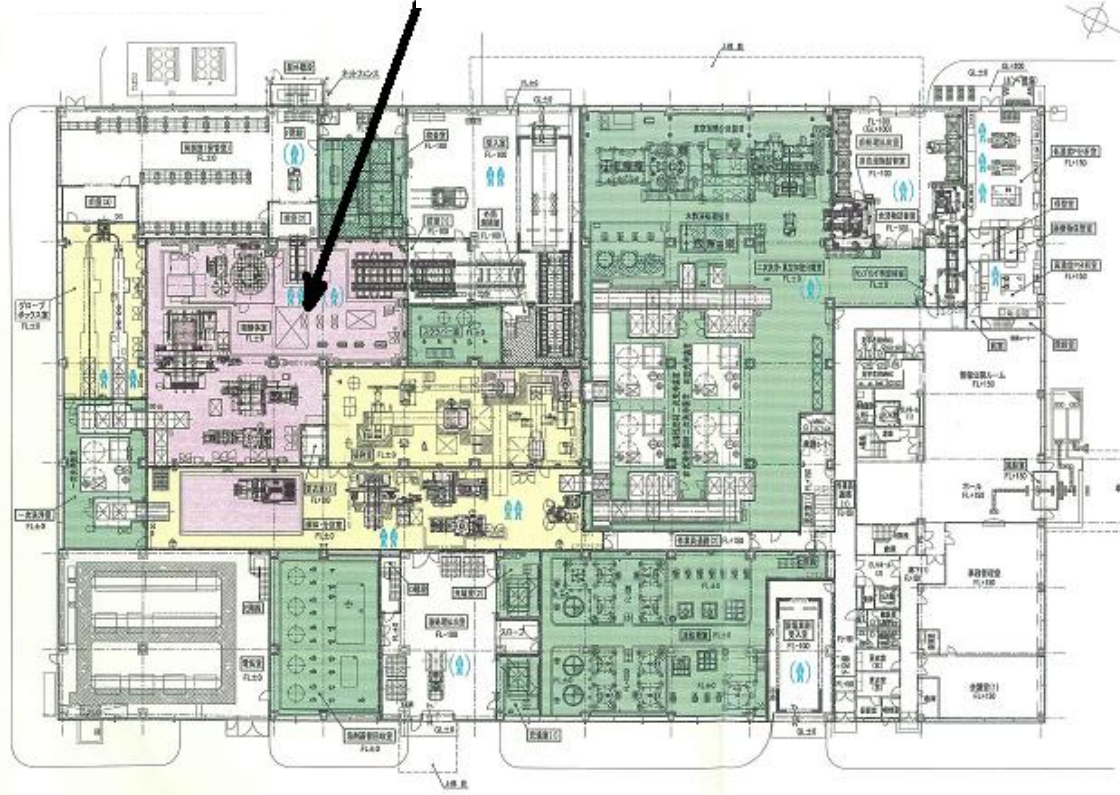
日本環境安全事業株式会社北九州事業所

所長 千葉 高生 (TEL 093-752-1113)

総務課長 田野 洋 (同上)

<第1期施設（1階）平面図>

粗解体室内の洗浄ステーション



<漏洩した部分の写真>



漏洩した
テフロン製の洗浄用ホース

オイルパン（防液堤高さ：約 50mm）